

健康診断実施に向けて

令和3年度の定期健康診断は、5/19（木）に2年次、4年次、別科助産専攻科、教職員を対象に、そして5/28（金）に1年次と3年次を対象に実施が予定されていた。その時期の沖縄県内では、コロナ新規感染者数が5/17（月）は59名、5/18（火）は168名であった。そのような状況であったが、5/19（木）の健康診断は予定通り実施された。そこで登校時に教育棟入り口で一人一人、体温測定を行い、発熱症状のある学生を把握した。その結果、体温が37℃を超える学生が4名みられ、その学生はその日の健康診断は受診せずに、5/28（金）の受診を案内後、帰宅させた。その日の健康診断の受付終了時刻は15時30分であったものの、15時には全ての予定者が健診を終了しており、健康診断の流れはスムーズに進んだ。しかし、健診会場の教室や廊下では学生同士が近寄って会話をしていたことから、三密を回避する手段を講じなければならなかった。

その後、沖縄県内のコロナ新規感染者数は、5/21（金）は207名、5/22（土）は231名と、2日間連続過去最多を更新し、曜日最多が7日間連続更新していた。さらに沖縄県は5/23（日）から緊急事態宣言を発令し、本大学も翌日の5/24（月）からは全学年遠隔授業に変更となった。そのため、5/28（金）に予定していた1年次と3年次を対象とした健康診断は延期が決定した。

延期が決定した後、保健業務専門員（保健室）の先生を中心に学務課職員や学生部長で、1年次と3年次の健康診断スケジュールが立案された。スケジュールは、1時間毎に3年次は1つのグループ、20名、1年次は2つのグループ、40名の学生が健康診断を受けるように時間を設定した。さらに学生部長を中心に、1年次部会長、3年次部会長の協力の下、三密回避に向けて「8月30日（月）の健康診断時の感染予防対策について」というマニュアルを作成した（別紙資料1、別紙資料2）。そのマニュアルでは、学内の地図に、健康診断を受診する学生の動線を明記し、学年の担当教員が所定の位置で学生同士が2mの間隔を確保しているか、会話をせずに並んでいるか、などを確認した。実際に2mの間隔を保持し、無言で健診を受けていた。また健康診断時、布マスクやウレタンマスクを着用している学生に対しては、大学の方から不織布マスクを配布し、交換してもらう、などの対策も講じた。このような状況下で、保健業務専門員（保健室）の先生、学務課職員、そして各年次部会の先生方が一致団結し、無事、健康診断を遂行することができた。

With コロナに向けて

感染予防行動として、「三密を避ける」がある。スーパーコンピューター富岳によるシミュレーションの結果、不織布マスクを装着しても、50 cm以内で会話をを行うと、約3割の感染が生じる可能性があることが判明している。このことも常に念頭に置きながら、各自が自身の感染予防行動に責任を持つことが必要かと考える。

資料1 2021年8月30日(月)の健康診断時の感染予防対策について

健康診断時に感染予防対策として、約2mの間隔を開ける、大きな声での会話はせず、会話は控えめにする、を徹底的に行ってもらいます。学生の動線を説明します。

学生は、一旦、ラーニングコモンズに集まり、整理券を受け取り、体温測定を行います。さらに、不織布マスクを装着していない学生は、教職員から不織布マスクを受け取り、マスクを交換します。その後、整理券の順番通り、足の絵が貼られている位置に並び、順次、1階のロビーに移動します。なお、足の絵は約2mの間隔を開けて貼り付けています。渡り廊下については、それ以上の間隔を開けて貼り付けています。

ロビーで受付を終えたら、向かって左側のドアからレントゲン車に乗り込みます。レントゲン撮影後は、守衛室、学生会室前を通過し、教育棟に入棟し、階段に向かい、足の絵が貼られている位置に並びます。

講義室8で聴力検査を終えた学生は、順次、講義室7、6、5、4と移動し、最終チェックで問診票を提出し、図書館側の階段を使用して、1階に下りて、速やかに帰宅してもらいます。

1年次学生は、講義室3で「ユニフォーム受け渡し」があるので、実習着を受け取り後、図書館側の階段を使用して1階に下り、速やかに帰宅してもらいます。

上記流れで学生は健診を受けますが、見取り図で丸付の番号を記した箇所に、教職員を配置し、感染予防対策を講じます。以下に、それぞれの役割を記します。

- ①(担当:支援員):ラーニングコモンズに来室した学生に整理券を渡す。また、中にいる学生が大きな声で会話をしていないか、会話は控えめにしているかを見守る。ラーニングコモンズの部屋の中から見える位置に、一人の学生が立って並ぶ場所を設けるので、その場所から学生が移動したら、整理券で次の番号を持っている学生をそこへ移動するように伝える。その際、自分の前に立っている学生が移動したら、速やかに前の立ち位置まで移動するように伝える。
 - ②(担当:事務局):ラーニングコモンズに来室した学生が整理券を受け取った後、体温測定を行い、測定結果を名簿に記録する。また、中にいる学生が大きな声で会話をしていないか、会話は控えめにしているかを見守る。
 - ③(担当:年次部会):渡り廊下にて、会話をせずに、足の絵が貼られている位置に適切に並んでいるかを見守る。守れていない学生には、その都度、口頭で注意し、行動修正を行わせる。
 - ④(担当:年次部会):1階ロビーにて、会話をせずに、足の絵が貼られている位置に適切に並んでいるかを見守る。守れていない学生には、その都度、口頭で注意し、行動修正を行わせる。
 - ⑤(担当:年次部会):1階から2階に向かう階段や講義室8に向かう間、会話をせずに、足の絵が貼られている位置に適切に並んでいるかを見守る。守れていない学生には、その都度、口頭で注意し、行動修正を行わせる。
 - ⑥(担当:支援員):講義室4~7で密になって座っていないか、会話は控えめにしているかを見守る。守れていない学生には、その都度、口頭で注意し、行動修正を行わせる。
 - ⑦(担当:支援員):健診を終えた学生が階段を下ってきた際には、速やかに帰宅するように声をかける。
- 金城(未):レントゲン車から学生が出てきたら、外で並んでいる学生に声をかけ、受付を行うように伝える。随時、健診場所を巡回して、感染予防対策が遵守されているかを確認する。
- 学生部長:健診場所を巡回し、感染予防対策が遵守されているかを確認する。また人員不足の場所があった場合、その場所の役割を遂行する。

資料 2 健康診断会場での学生の動線

